

第215回 津久井の歴史こぼれ話を語る会

中野水道と三ヶ木発電所

～ 横浜水道が残した文化遺産 ～

語り手 城山地域史研究会 いぬい 乾 てる 照 お 夫 さん

今日、都市水道や電力事業が普及した結果、かつて地域に設置された水道施設や発電施設は、人びとの記憶から忘れ去られ、その形跡すら顧みられることがなくなった。

この会では、大正時代、横浜水道の第二回拡張工事を機に、津久井郡に創設された中野水道と三ヶ木発電所を紹介し、かつてそれらが地域の人びとの生活に潤いをあたえた時代をふりかえり、改めてその意味を問い、今日わずかに残る遺構の保存を訴えたいと思うしだいである。

(中野水道取水口の遺構)



(三ヶ木発電所貯水槽の遺構)



日時：令和元年10月20日(日) 午後2時～4時30分 (開場 午後1時30分)

会場：相模原市城山保健福祉センター 3階 第1会議室 定員 60名 (先着順) 予約は不要です。
(緑区久保沢2-26-1：駐車場あり。 (ご注意) いつもの城山公民館会場とは異なります。)

JR橋本駅北口より神奈中バス「三ヶ木」行きで「城山総合事務所入口」下車、徒歩10分

費用：500円 (資料代) *ご夫婦参加はペアで500円。生徒、学生は無料です。

主催：城山地域史研究会 会長 山口 清 協力：城山公民館

問い合わせ先：三宅 (090-3219-2805)

偶数月の第3日曜日の午後で開催：本年度は10/20, 12/15, 2/16を予定しています。